

## ▼ピルトリシド錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 プラジカンテル Praziquantel 【分類】 吸虫駆除剤

【単位】 ▼600mg/錠

【常用量】 ■肝吸虫症, 肺吸虫症: 1回 20mg/kg を 1日 2回, 2日間 ■横川吸虫症: 1回 20mg/kg を 1日 1~2回, 1日間※体重に応じて 1/4 錠単位で調節

## ▼条虫の駆虫

前処置は、駆虫前日に入院、夕食は低残渣食とし、寝る前にセンノシドを内服する。

当日は朝に 10mg/kg 内服し、2時間後に塩類下剤を使用後、排便をできる限り我慢して一気に排便し、中体の頭部が確認できれば駆虫成功となる

【用法】 1日 2回投与の場合、昼食後及び夕食後に投与することが望ましい（投与間隔は少なくとも 4 時間以上あける）

【透析患者への投与方法】 設定されておらず、慎重投与（1）

【保存期 CKD 患者への投与方法】 腎機能障害のある患者は排泄が遅延する可能性があるため慎重投与（1）

【特徴】 抗吸虫剤。肝吸虫、肺吸虫、横川吸虫等抗吸虫スペクトルを有する。筋収縮作用により虫体を麻痺させ、あるいは外皮細胞膜の傷害を起こすことにより殺吸虫作用を示す。

【主な副作用・毒性】 嘔気、下痢、頭痛、腹痛、発疹、めまい、血球減少、痙攣、倦怠感、無力症など。

【安全性に関する情報】 眠気があらわれることがあるので、自動車の運転、機械の操作等危険を伴う作業には注意させる（1）

【F】 63.6% [サル]（1）初回通過効果を受ける（1）

【tmax】 2hr（1）

【代謝】 主に CYP3A4 で代謝（1）ほぼ全てが数種の水酸化体で代謝される（1）

【排泄】 尿中回収率 80~84%（1）

【t1/2】 0.8~1.7hr（1）

【蛋白結合率】 76%（1）

【Vd】 不明（1）

【MW】 312.41

【透析性】 資料なし（1）

【O/W 係数】

【相互作用】 リファンピシム併用により本剤が吸収されなくなるので併用禁忌（1, Ridditid W, et al: Clin Pharmacol Ther 72: 505-13, 2002）クロロキン併用で血中濃度低下（1）

【主な臨床報告】 日本海裂頭条虫の治療に適用して効果的であった 2 症例（阿部修一, 他: 第 72 回日本感染症学会・東日本, 237）

【備考】 住血吸虫症に対する本剤の有用性は外国においては確立されており、WHO では住血吸虫症の治療のエッセンシャル・ドラッグとされているが、国内における評価症例がないため、我国においては住血吸虫症に対する効能は承認されていない。

【更新日】 20231010

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。